



# 永井先生からのメッセージ No.16

～元小学校の先生から保護者の皆さんへ～

2023年 12月 8日 野毛山幼稚園

「言葉づかい」はなぜ「言葉使い」ではなく「言葉遣い」なの？

## 【言葉づかい あれこれ】

元小学校教諭 永井 裕



▶サンタクロースいわく……

初めて会ったトナカイに、わしは、気を使う。疲れる。だからイヤだ。でも相手がきみだと、わしは、「きみが疲れないように」と、気遣いができる。つまり、「気を使う」のは、相手よりも自分の方を大事に思っているとき。一方、「気を遣う」のは、自分よりも相手の方を大事に思っているとき。言葉は、相手を大事に思って伝えるもの。だから、『言葉遣い』と書く。

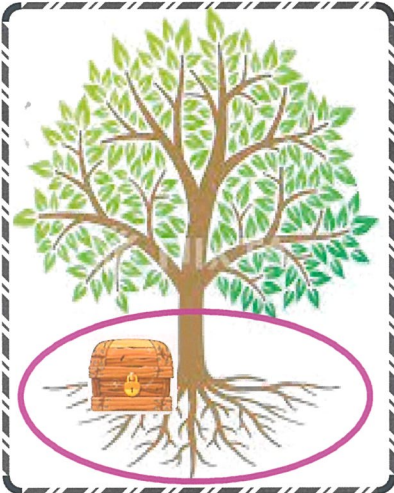
「言葉遣い」子どもも大人も大丈夫かな。



Google

園児 悪い言葉

- 子どもの乱暴な言葉遣いを直すには？
- 4歳の言葉遣いが気になる！暴言、逆などで、下ネタ・
- 乱暴な言葉を使う子には原因があった！
- 【てい先生にきく】意地悪な言葉遣い、やめさせるべき？

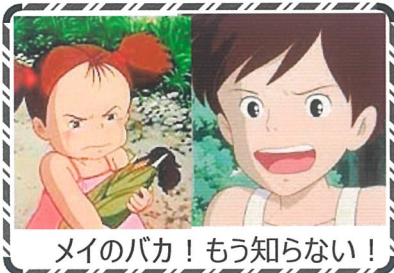


▶子どもを「木」に、言葉を「葉」にたとえてみます。木の根元にある箱は、状況によっては「言葉遣いが悪い」ではすまされない言葉(人として相手に発してはいけない言葉)を封印するためのものです。(大人の責任で)

▶木に雨や日の光が当たるように、子どもには、周囲から様々な言葉が降り注ぎます。すると、新緑が芽吹くように、子どもは新たな言葉を次々と覚え、乱暴な言葉、汚い言葉、意地悪な言葉も使い始めます。



～「そこで親が大切にすべきことは？」の具体例は、ネットにゆずることにして～

▶サンタの教えにもどれば、この子の言葉遣いが、これからどうなっていくかは木の根っこの部分に、「気遣い」や「心配り」、「やさしさ」や「思いやり」という栄養が、どれだけ蓄えられているかで決まるのだと思います。



メイのバカ！もう知らない！

▶サンタクロースいわく……

たとえ、悪い言葉を使う時があっても、が豊かであれば、がしっかりと守られていれば、この子の言葉遣いは、悪くなっていかない。「葉」を見守りつつ、「根」を大切にする。それが、子育ての底力では。

## 言葉の使い方

▶外国からの転入生にとっては、超難問。先月に引き続き、ちよこつご紹介。

▶ご家族からのヒントをたよりに、答えにたどり着いたら、あっぱれ。サンタには無理。

 <u>どんぐり</u> こ〇こ〇	 <u>おふる</u> ぽ〇ぽ〇	 <u>こま</u> く〇く〇	 <u>おさら</u> び〇び〇
 <u>お〇〇</u> ⇄ <u>ちい〇〇</u>	 <u>お〇〇</u> ⇄ <u>すく〇〇</u>	 <u>あ〇〇</u> ⇄ <u>あたた〇〇</u> ⇄ <u>すず〇〇</u> ⇄ <u>さ〇〇</u>	